

特定非営利活動法人 浜名湖・庄内半島ドリーム 設立趣旨書

1 趣 旨

浜名湖に浮かぶ庄内半島は、9町で構成され浜松市全体の約8.5%となる世帯数で人口約9,300人であり、高齢化率も38%と市平均29%に比べて高い地域となる。将来予想においても高齢化率が進み、空き家や休耕放棄地が増え、疲弊した地域になる事は必然と考えられる。

しかし、庄内半島は、周囲を浜名湖に囲まれているため、自然の美しさから派生した独自の歴史・文化が伝承されてきた。また、一時は浜松の奥座敷と称された、舘山寺温泉で賑わいを享受した時代も経験をしている。しかし、児童生徒の減少による小中学校の統廃合が行われ、地域の活力に陰りが進み、内にこもりがちの傾向となり、日本の縮図と位置づけられる地域にありながら「原風景」を見直す機会が損なわれてもいる。

事業目的として、浜名湖に浮かぶ庄内半島の「原風景」から価値観の想像力や美的感覚の刺激を生み出す心の安らぎと精神的満足度の向上を促進するために、現世代や次世代を担う人々と共に、多岐にわたる保護活動や調査研究など、行政の助力も受けた展開を通じて、地域に生きる喜びや夢が語り合える「暮らしたくなる街 庄内半島」を目指す。

そのため、空き家の活用と再利用のリフォーム提案事業を通じて地域情報の一元管理化と行政への情報共有化を図り、移住促進活動を推進する。また、休耕地等においては、地域農作物のブランド化を目指すため、地区専門学校や地区小中学校生徒との協働活動を通じて、地域住民と共に地域振興を考察した活性化を図る。一例として、微生物の培養堆肥から休耕地の土づくりや、継承不可能となった阿多古和紙に代わる「へちま」と和紙材料との混合から、新しい和紙作りの商品化や、過去には多くの出荷数を誇っていた特産野菜「庄内白菜」の復活を試みる。

パワースポットと呼ばれる施設の整備事業を行い、心のやすらぎが持てる環境を作り出す。また、浜松市だけに偏らない周辺地区の再認識を行う講座と、視察のイベント事業の企画により魅力の再発見を促進する。

また、公共施設と遊園地やスマートインター等が集中する舘山寺地区の魅力を活用し、人流を活性化させることを目的に、行政や観光協会の助言を受けながら、イベントや講座を企画検討し、交流機会が創造される事業を通じて地域貢献に寄与する。

当法人では、環境問題の空き家・休耕地の正確な情報のデータベース化を図り、広く開かれた窓口として、情報公開窓口とした移住促進の援助体制作りを目指す。

しかし、個人情報にも関わる事業に関与する為、任意団体や会社組織では、社会的信用性に問題点が生じる恐れがあり、責任を有した団体の活動として特定非営利活動法人が望ましいと考える。

2 申請に至るまでの経過

2024 年

- 05 月 (仮称) 庄内半島ドリームプロジェクト発足意見交換と参加意志の確認会議を開催
- 06 月 当会のロゴマーク募集案及びホームページ開設の検討会
- 07 月 活動基本理念の再提案と「知ろうランニング」のイベント提案と検討会
- 09～10 月 次年度に向けた各部門活動計画案検討会（継続 10 月会議）
- 11 月 ロゴマーク応募作品展示日程の検討会

2025 年

- 2 月 組織図の検討と決定及び規約の検討会
- 3 月 2024 年の総括と課題と運営活動会議の定着（部長会と定例会の分離）
- 04～07 月 部長会及び定例会の実施
- 07/10 任意団体浜名湖・庄内半島ドリームプロジェクトの設立総会開催（NPO 法人移行表明）
参加人員 34 名（舘山寺開華亭）
- 08 月 第一回企画委員会開催 理念の再確認と検討会
- 09 月 第二回企画委員会開催 開花マラソン・爬虫類展イベント提案と検討会

3 主な事業の実施

2024 年

- 04 月 深萩町空き家不動産の 8 か所視察実施と調査
- 06 月 有機肥料説明会（三方原アグリ）オイスカ専門学校にて開催
- 08 月 中日新聞による報道取材（設立趣旨と事業展開）
- 10 月 曾許乃御立神社整備開始（雑草除去と本殿内湿気対策の樹木伐採作業）以降毎月実施
- 11 月 西区行政センターと地域力向上事業のプレゼン審査開始
Re-lation 秋祭りにて、地域貢献含む開催（長野県箕輪町の物品と案内も参加）
- 12 月 地域力事業補助金条件付き選択通知の交付決定

2025 年

- 1 月 さくら開花マラソン大会のポスター・チラシ配布（旧西区内学校 10, 000 枚）
クリエート浜松冬まつりに参加（庄内学園・オイスカ専門学校・曾許乃御立神社）
- 2 月 西区行政センターと令和 7 年度地域力向上事業プレゼン審査開始
地域力向上事業のへちま和紙紙漉き体験開始…中日新聞取材
スイカ土壌づくり体験（オイスカ高校農場）
神社歴史講座（曾許乃御立神社にて講師野中宮司 参加 17 名）
- 3 月 ガーデンパークにて第一回「さくら開花マラソン」大会実施（350 名参加）
- 4 月 第一回ドリーム倶楽部（講師フラワーパーク塚本こなみ理事長 参加 45 名）以降毎月実施
- 5 月 第二回 “ （講師渡渡会顧問 豊橋農場視察 参加 30 名）
- 6 月 第三回 “ （顧問森下会長 舘山寺の魅力 参加 25 名）
- 7 月 第四回 “ （講師鈴木一有館長 気賀関所 参加 23 名）

- 8 月 静岡県まるごと移住フェア参加（東京交通会館）
第一回夏休みこども 21 講座開催（フラワーパーク共催）
第五回ドリーム倶楽部（井伊谷宮 参加 26 名）
- 9 月 第六回ドリーム倶楽部（環境保護 OMソーラー講師高林 参加 25 名）
- 11 月 11 月 1～3 日間浜松市動物園（こんちゅう館）で、爬虫類特別展を櫛田京佑さんの協力のもと、当団体の協賛で開催した。入場者数 4,588 名となり、開園以来の記録となる。

2025 年 12 月 4 日

特定非営利活動法人 浜名湖・庄内半島ドリーム

設立代表者 （氏名） 高橋 秀幸

